

1 調査名称：新町橋通り（国道 438 号）等道路空間再編検討業務

2 調査主体：徳島市

3 調査圏域：市域内（新町橋通り等）

4 調査期間：平成 30 年度

5 調査概要：

徳島市では、徳島市内連続立体交差事業に係るまちづくり計画（案）を平成 22 年度に作成したが、徳島駅周辺のまちづくりに関して、にぎわい創出等の点で弱さが指摘されていた。このため、歩行者空間の充実やイベント空間の整備等によるにぎわい創出を目指し、平成 30 年 6 月に新たな徳島駅周辺まちづくり計画を策定（軽微な修正を行い令和元年 6 月に修正計画を策定）したところである。

当該計画において新たに設定する「にぎわい交流軸」は、徳島駅前広場を中心とした南北に伸びる軸を一体的に、歩行者優先の空間として整備しようというもので、本業務において、将来的な道路空間再編の検討に向けた現在交通量及び空間再編案等の調査検討を行い、今後の関係機関等との協議における基礎資料として活用するものである。

I 調査概要

1 調査名称：新町橋通り（国道 438 号）等道路空間再編検討業務

2 報告書目次

1 業務概要

- 1.1 業務目的
- 1.2 業務概要
- 1.3 業務内容
- 1.4 業務構成
- 1.5 業務実施方針

2 交通量調査

- 2.1 調査概要
- 2.2 調査内容
- 2.3 調査管理体制及び連絡体制
- 2.4 調査結果

3 道路空間再編案 3 案の作成

- 3.1 新町橋通りの利用実態に関する調査
- 3.2 道路空間再編の事例収集調査
- 3.3 景観・デザインに係る調査
- 3.4 新町橋通り道路空間再編のコンセプト
- 3.5 空間再編方針
- 3.6 道路空間再編案の検討

4 イメージパースの作成

- 4.1 パース作成概要
- 4.2 イメージパースの作成
(次頁に続く)

5 関係機関等打合せ協議

5.1 道路空間再編の検討 中間報告、今年度の今後の検討方針について

5.2 道路空間再編のイメージ検討成果の報告、来年度の検討方針について

5.3 協議資料作成

6 今後の課題

3 調査体制：委員会や幹事会等の検討体制なし

4 委員会名簿等：委員会や幹事会等の検討体制なし

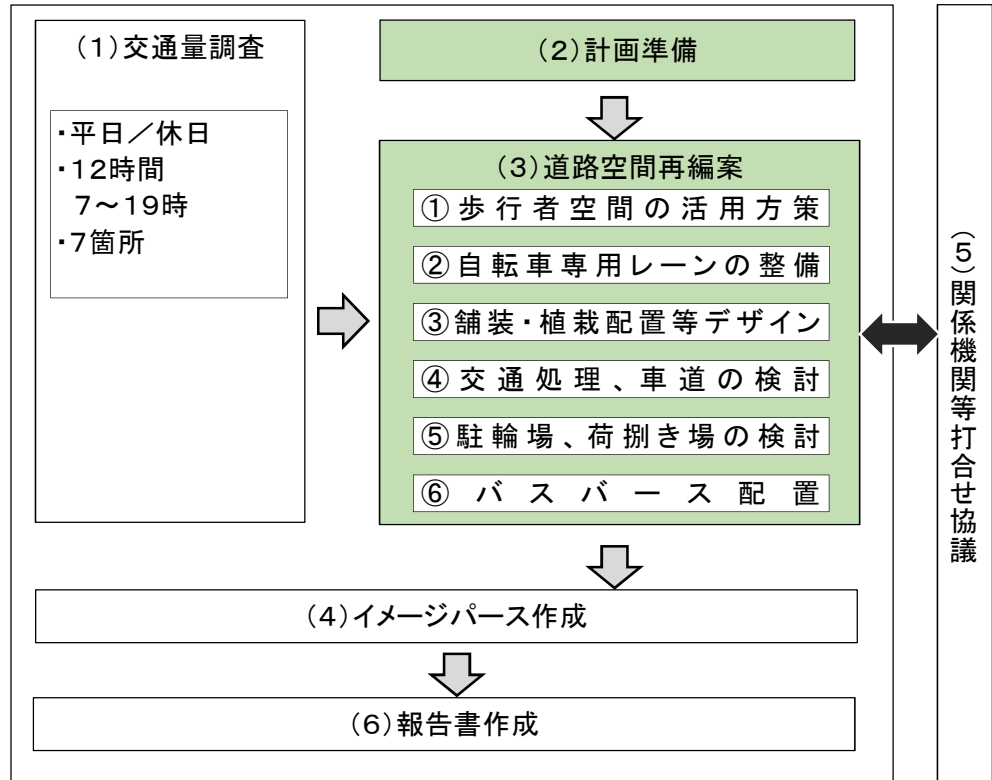
II 調査成果

1 調査目的

徳島市では、徳島市内連続立体交差事業に係るまちづくり計画（案）を平成22年度に作成したが、徳島駅周辺のまちづくりに関して、にぎわい創出等の点で弱さが指摘されていた。このため、歩行者空間の充実やイベント空間の整備等によるにぎわい創出を目指し、平成30年6月に新たな徳島駅周辺まちづくり計画を策定（軽微な修正を行い令和元年6月に修正計画を策定）したところである。

当該計画のコンセプトとして掲げる「にぎわい交流軸」の形成に資する取組として、将来的な道路空間再編の検討に向けた現在交通量及び空間再編案等の調査検討を行い、今後の関係機関等との協議における基礎資料として活用するものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



まちづくりのコンセプト図

4 調査成果

本調査成果は、市内部における検討に関する情報で、今後の関係機関等との協議における基礎資料として活用することを目的としたものであり、公にすることにより、市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は、特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開。